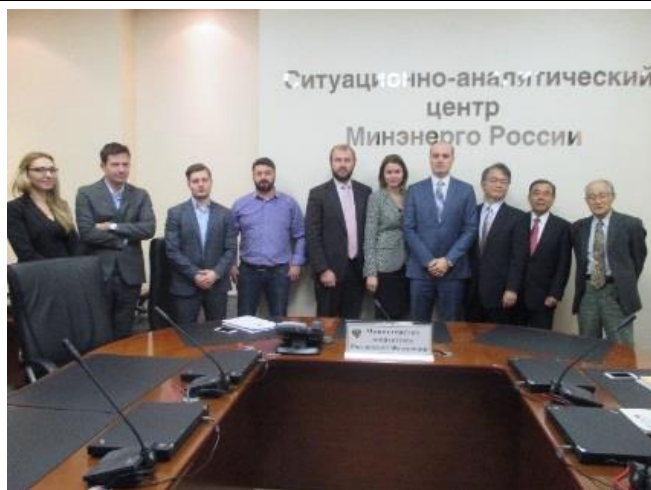


ロシア・モスクワでビル省エネルギー診断を実施しました。

【事業概要】

一般財団法人省エネルギーセンターは、経済産業省の委託（国際エネルギー使用合理化等対策事業・省エネルギー人材育成事業）を受けて、H28.11.25～H28.11.30の5日間、モスクワ市内の建物について以下を目的とする省エネルギー診断を実施しました。

1) 学校建物（幼稚園）の教室環境診断・エネルギー診断の実施・その評価に基づく改善計画の提案。



本調査の実施前に H28 年 3 月に予備調査を実施しました。その調査結果から以下の問題点があり、解決の可能性（省エネルギー）を追求する必要があることが判明しました。

問題点：冬季に生徒のいない夜間・休日においても教室暖房をしている。

なお暖房は熱供給プラントから供給される温水により実施されている。

その暖房エネルギー削減の可能性確認の為、以下のエネルギー診断試験を実施しました。

- (1) 幼稚園建物を対象に生徒のいない夜間時間帯に供給熱量と教室温度の関係を測定しました。
3日間供給熱量を変化させてデータ測定を行いました。
- (2) その結果、外気温度は -5°C 前後で熱供給量を(0%,-10%,-20%)と変化させても室温変化は 2°C 以下で、ほぼ下がらないことが分かりました。
- (3) ロシアの公共建物の無稼働状態の室温環境基準は 12°C であり、省エネルギーのため熱供給量を削減しても十分にその温度は上回ることが可能である事を証明できました。
- (4) 本診断により十分に省エネルギーの実現可能性を確認出来ました。

今回のデータ取得は3日間のデータの為、さらに追跡調査をロシア単独でも実施する事とモデル設備の設置と1年間のデモンストレーション検討をロシア側へ依頼しました。

上記活動については H29 年度活動においてもフォローする予定です。